

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
益子町	生田目	R 3 年 3 月 1 2 日	年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	91.3ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	50.5ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	24.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	15.2ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	7.7ha
(備考)	

2 対象地区の課題

70歳以上の農業者の耕作面積が地域の26%を占め、また、16%が後継者がいない農地となっている。中心経営体は、集落営農組合・園芸農家・耕種農家となっており、規模拡大の意向がないため、地域外の担い手による農地の引き受けを検討していく。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

担い手の受入れに備え、後継者のいない農地について集積・集約化していく。

地域外担い手として新規参入者を想定し、町と連携して参入意向者への情報提供に努める。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

田の維持管理については現状維持。畑については総面積が多く、筆が細かいので、広い区画にまとめることで地域内外より担い手を呼び込む。

現状、耕作放棄地はほぼなし。しっかりと管理していけるよう、多面的機能支払交付金の活用を継続させる。